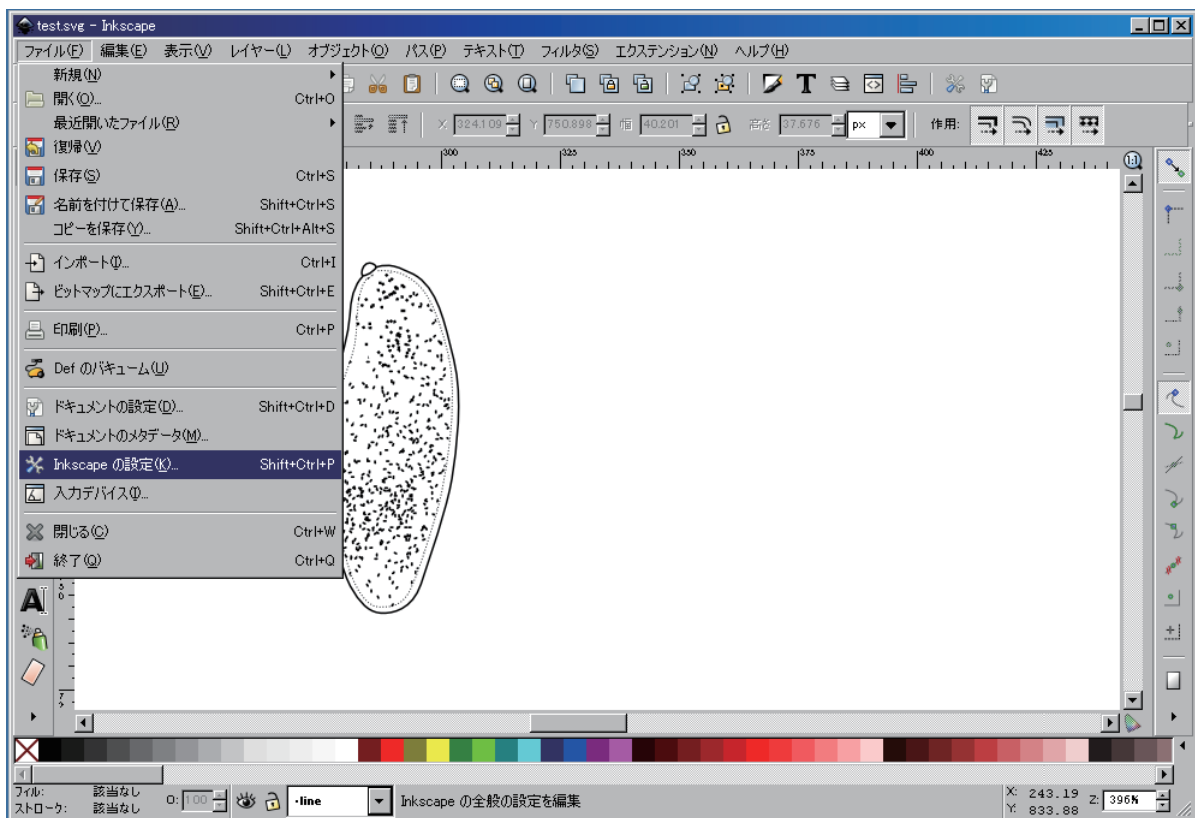
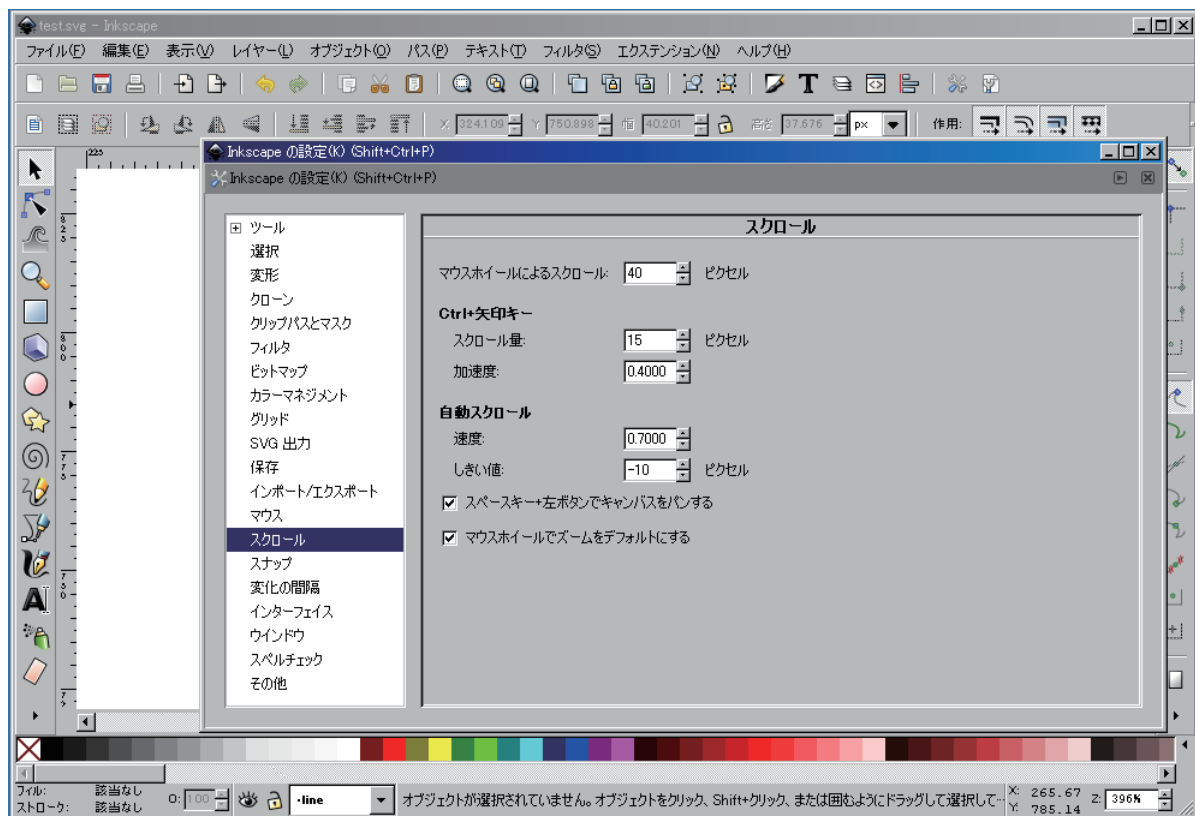


設定

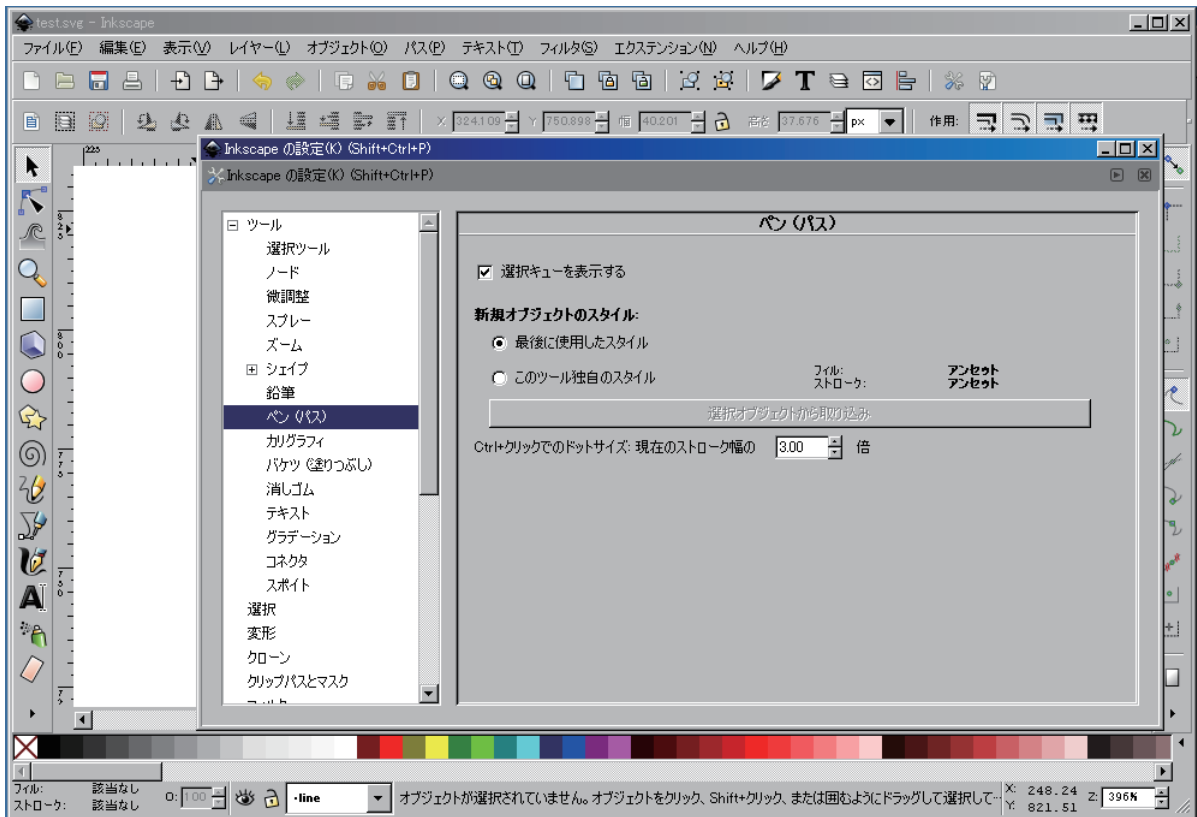


「ファイル」から「Inkscapeの設定」を選ぶと設定ウィンドウが開く

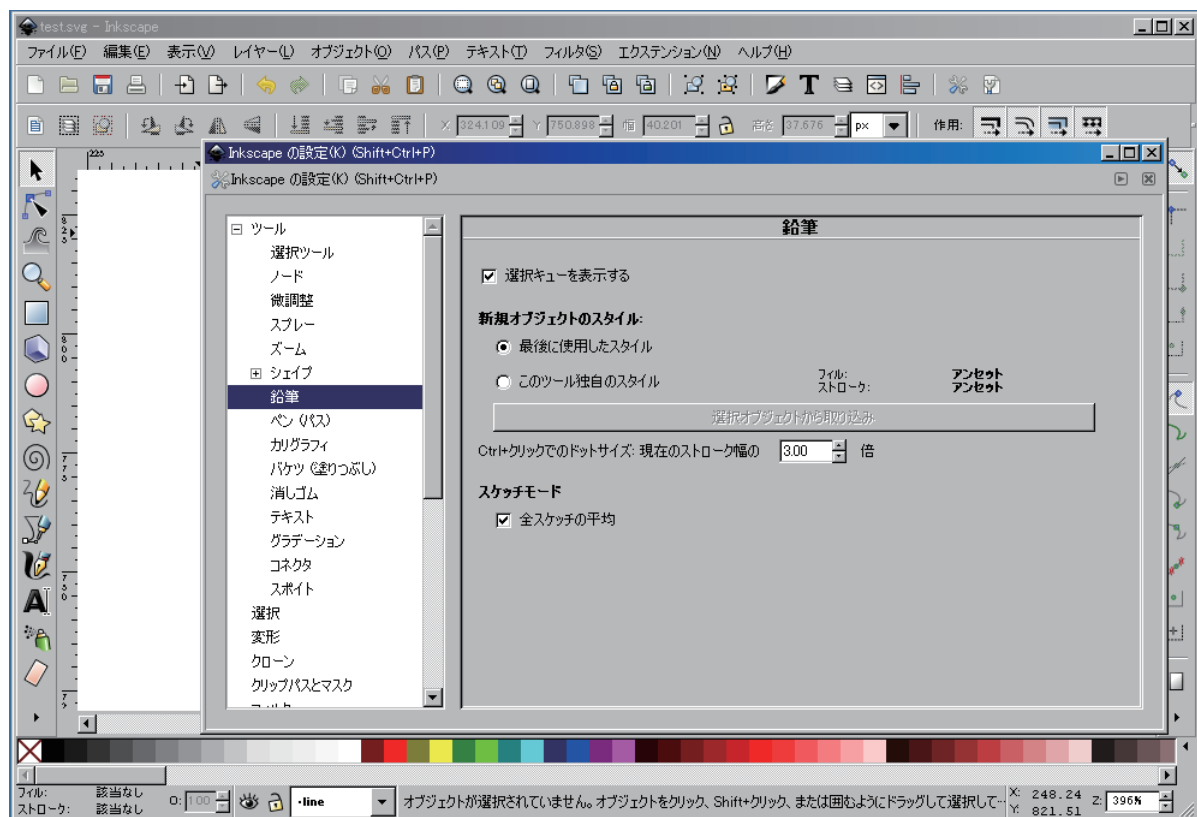


「ツール」の左側「+」をクリックすると隠れているメニューが現れ、各ツールの設定ができる。

ツールの設定

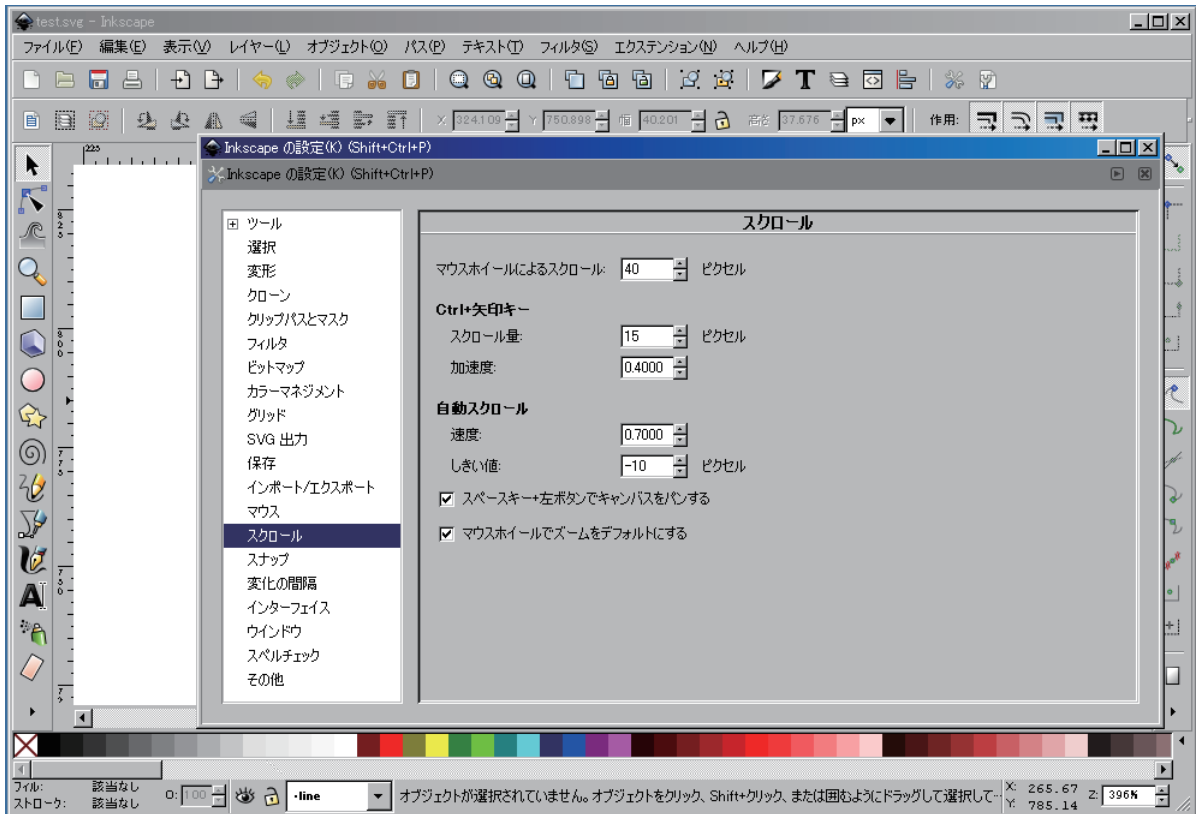


「ペン(パス)ツール」の設定をする。「新規オブジェクトのスタイル」を「最後に使用したスタイル」に設定。慣れてきたら「このツール独自のスタイル」でもよい。例えば「常に、太さ1ポイントの線で描き始めたい」と言った場合は「このツール独自のスタイル」を選択する。



「鉛筆」の設定をする。点線を鉛筆ツールで描くケースが多いので、「このツール独自のスタイル」を選択するのも良い。設定方法は、予め点線で描いたオブジェクトを作成しそれを選択、上図の「選択オブジェクトから取り込み」で設定する。

スクロールの設定



キャンパス(作業画面)のスクロール(移動)とズーム(拡大縮小)の方法を設定する。

1)「マウスホイールでズームをデフォルト(標準)にする」にチェックを入れる。

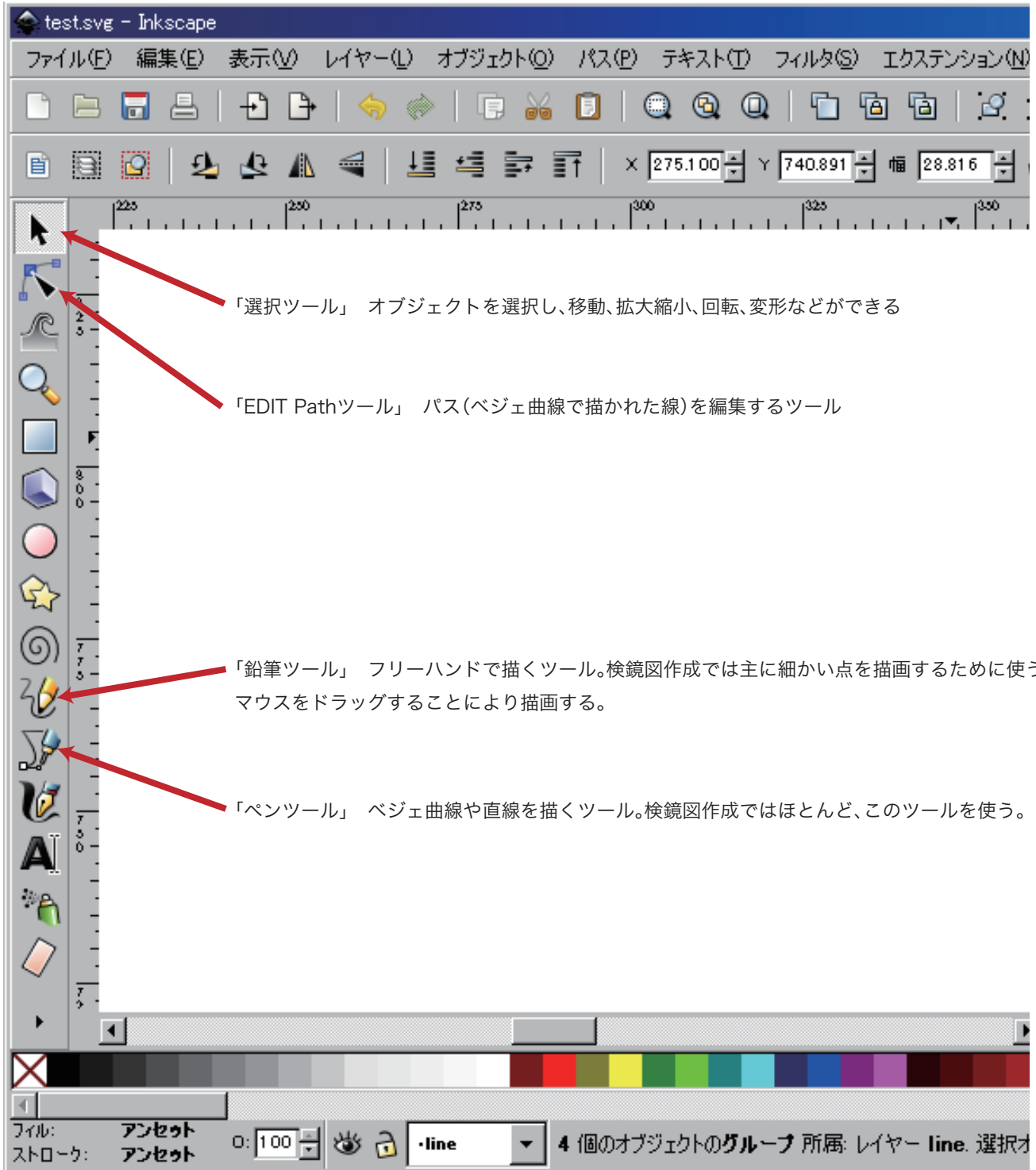
標準ではキャンパスの拡大縮小は、虫眼鏡ツールや「+、-(マイナス)キー」で行うようになっているが、胞子測定ソフトPhotoRulerでは、マウスホイールで行うようになっているため、PhotoRulerと同様にする。

2)「スペースキー+左ボタンでキャンパスをパンする」にチェックを入れる。

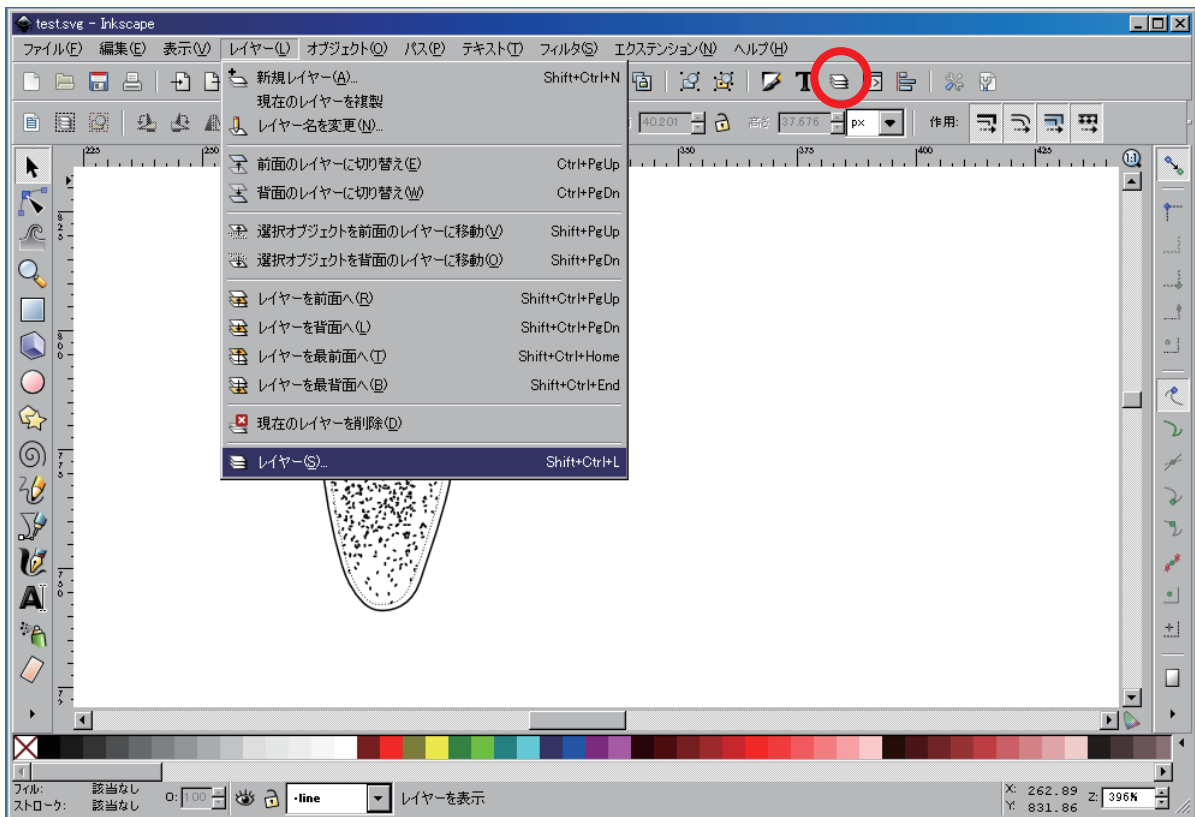
標準ではキャンパスの移動はマウスホイールを使うようになっているが、スペースキーを押しながらドラッグ(マウス左ボタンを押したままマウスを移動する)で行うようにする。

ツール

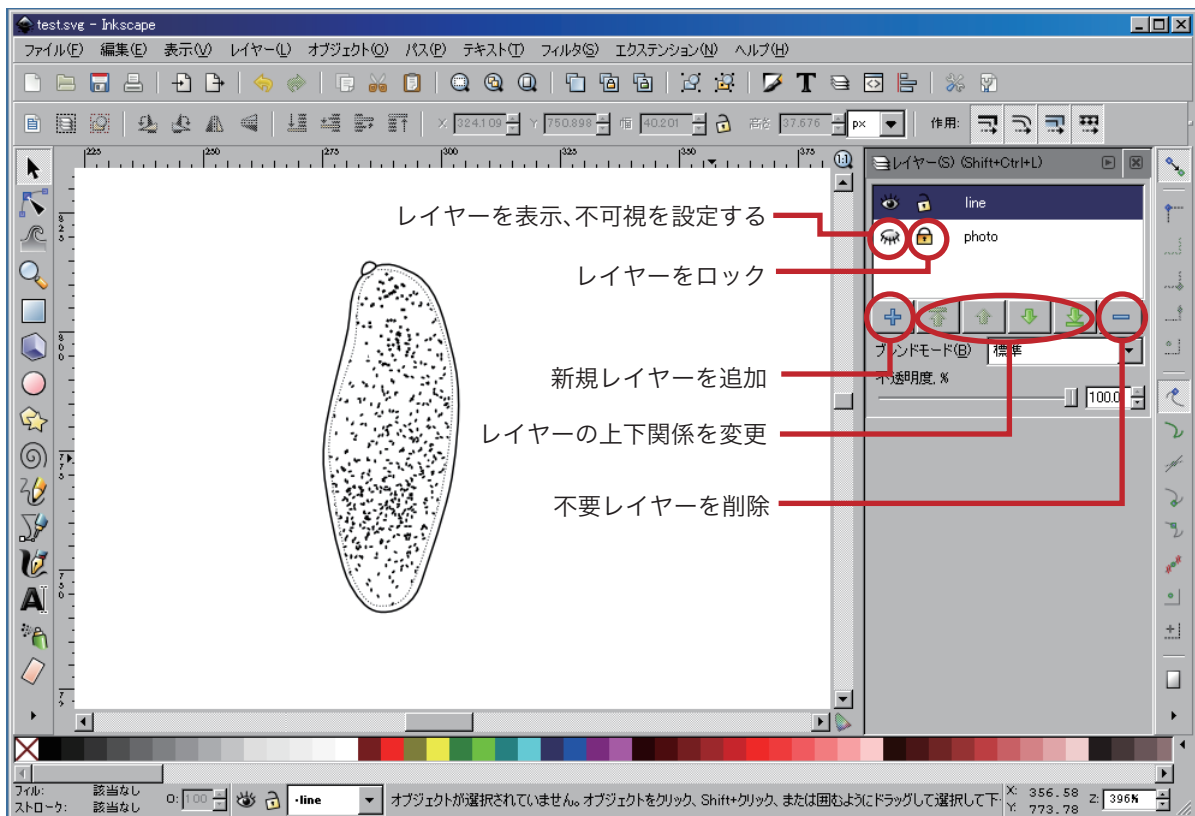
検鏡図作成では、下記4種類のツールのみを使う。



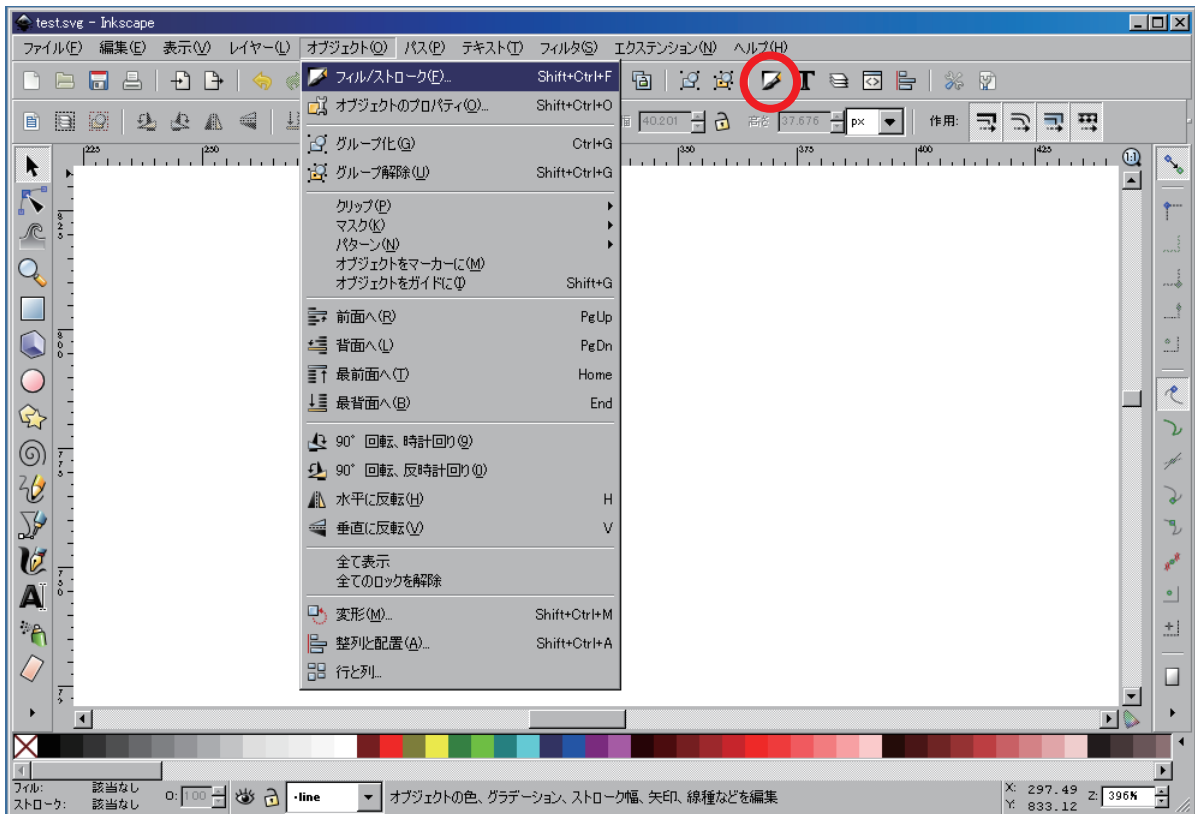
レイヤー



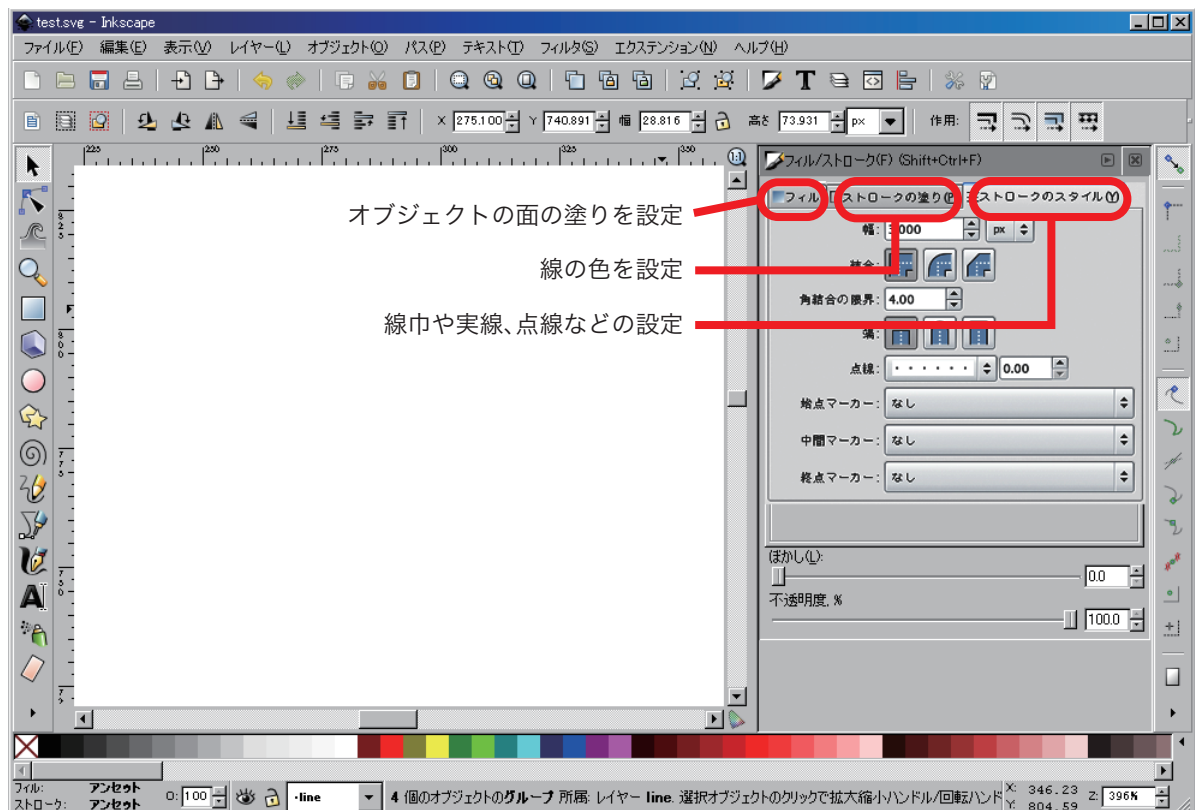
メニューから「レイヤー」を選択または、「レイヤーアイコン(赤丸内)」をクリックするとキャンパス右側に「レイヤーウィンドウ」が現れる」下図参照



フィル/ストローク (塗りと線の設定)

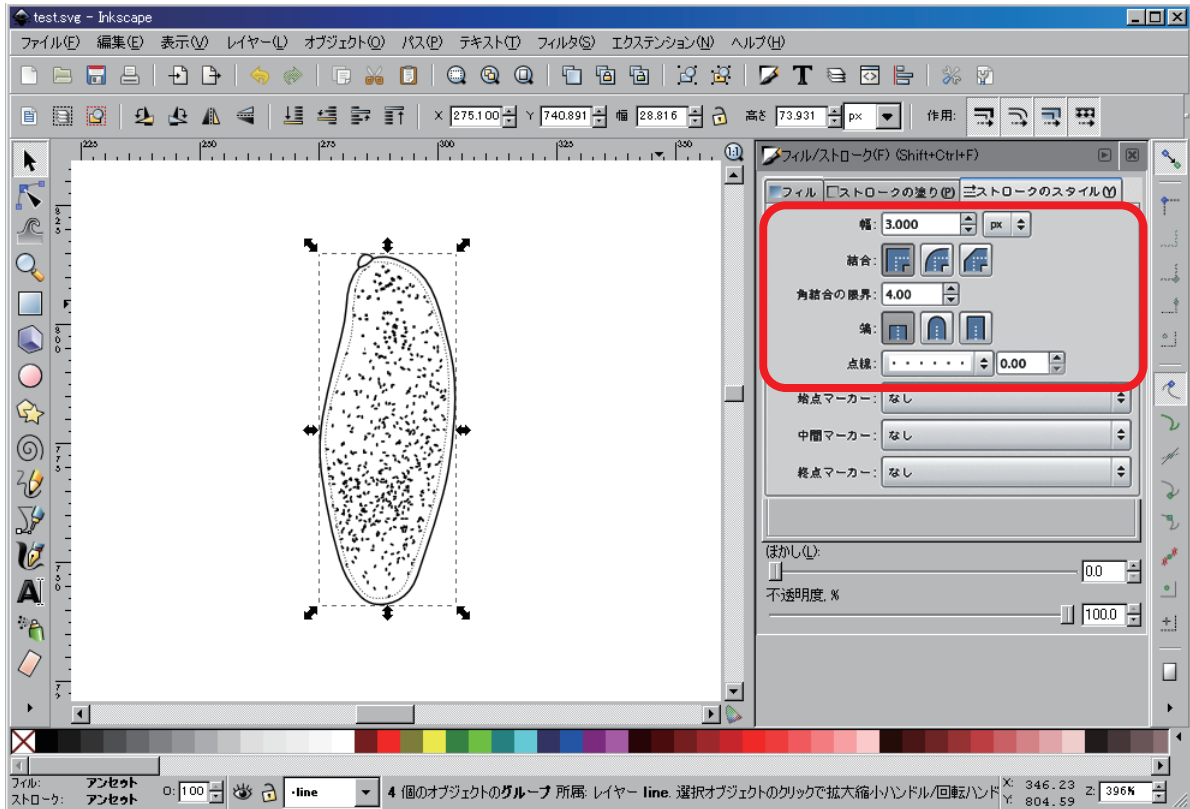


メニューから「オブジェクト」「フィル/ストローク」を選択または、「フィル/ストロークアイコン(赤丸内)」をクリックするとキャンパス右側に「フィル/ストロークウィンドウが現れる」下図参照



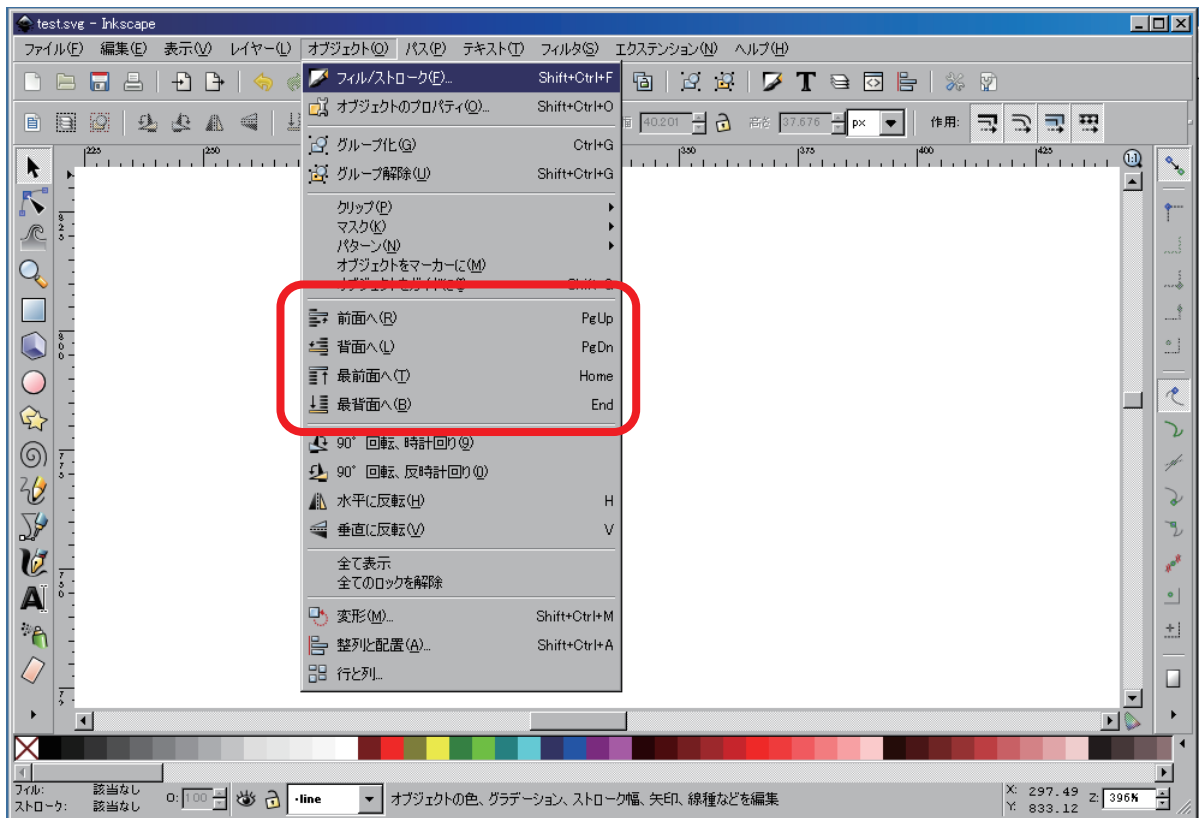
検鏡図は白黒の線画であるため、基本的に面の塗りを設定をすることはないが、場合によっては塗りを「白」に設定することがある。線の色は基本的に黒に設定する。

フィル/ストローク (塗りと線の設定)



線の太さ、角の形状、線の末端や点線の形状、点線の間隔などを設定できる。

オブジェクトの前後関係



オブジェクトは、後から描いた物が一番手前であると定義されている。複数オブジェクトの前後関係(手前にあるのか奥にあるのか)を、設定することができる。下の例では、四角、星形の順で描画したが、前後の位置関係を変更することが出来る。

